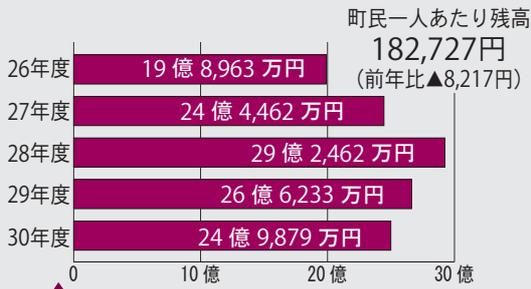
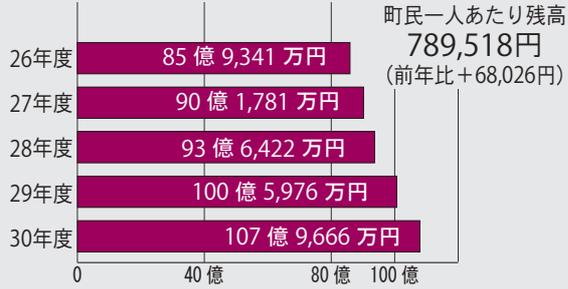


基金と地方債の残高状況を見てみよう!

●積立基金（貯金）残高の推移



●地方債（借入金）残高の推移



主な基金（積立基金）の積立状況

名称	金額
財政調整基金	9億542万円
減債基金	4億648万円
公共施設整備基金	8億34万円
体育館建設基金	1億979万円
福祉振興基金	1億463万円
その他の基金	1億7,213万円
積立基金合計	24億9,879万円

「基金」とは？

町の貯蓄のことです。財源不足に備えるための財政調整基金のように特定の目的のために積み立てるもの（積立基金）のほか、特定目的のために定額の資金を運用するためのもの（定額運用基金）があります。

とこるで...
今の白鷹町の財政状況はどうなっているのかなあ？

公営企業における資金不足比率について

水道、町立病院、訪問看護ステーション、下水道、農業集落排水の全会計について、資金不足は発生していないため比率はありません。

財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を目的として制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率及び資金不足比率について公表が義務付けられています。

平成30年度決算に基づく町の状況は、下記のとおりすべて基準を下回りました。引き続き健全な財政運営に取り組んでまいります。

実質公債費比率・将来負担比率ともに増加
平成30年度決算に基づく「健全化判断比率及び資金不足比率」を公表します!

■健全化判断比率（速報値）

(単位：%)

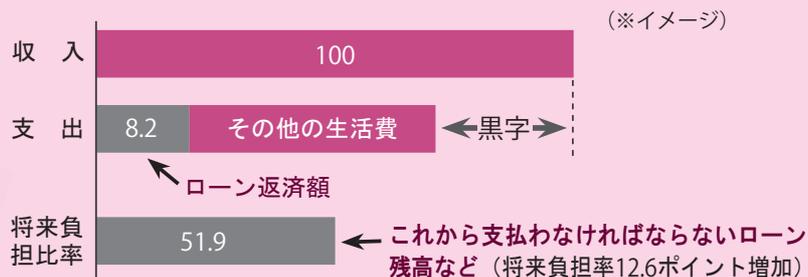
比率名	本町の状況	早期健全化基準	財政再生基準	参考：昨年度の状況
①実質赤字比率	－（赤字なし）	15.00	20.0	－（赤字なし）
②連結実質赤字比率	－（赤字なし）	20.00	30.0	－（赤字なし）
③実質公債費比率	8.2	25.0	35.0	7.5
④将来負担比率	51.9	350.0		39.3

①実質赤字比率：1年間の家計に占める赤字の割合 ②連結実質赤字比率：2世帯住宅などの場合、それぞれの世帯の家計を合算した家族全体での1年間の家計に占める赤字の割合 ③実質公債費比率：年収に占めるローン返済額の割合 ④将来負担比率：ローン残高や生命保険の支払いなどが年収の何年分に相当するかを示した割合

それぞれの比率を家庭に例えると...



ある家庭の1年間の収入(100)に当てはめてみました!



平成 30 年度は、このように
お金が使われました！



歳出を町民一人あたりでみると

総額 65 万 7,270 円 (+1 万 2,090 円)

※町民一人あたりの金額は、平成 31 年 3 月 31 日現在の町の住民基本台帳人口 1 万 3,675 人で割ったものです。

民生費

民生費とは、障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費です。

使われたお金…20億1,847万円

→町民一人あたり…14万7,603円 (前年比▲1万3,507円)

ひがしね保育園での乳児保育の実施等に向けた施設改修及び通園バスの更新に対する支援を行うとともに、出生祝い金を贈呈するなど、子育て環境の充実・支援に取り組みました。

衛生費

衛生費とは、母子保健、医療、環境などのための経費です。水道事業会計、病院事業会計への支出も含まれます。

使われたお金…5億4,144万円

→町民一人あたり…3万9,594円 (前年比+1,650円)

各種検診等の実施により健康寿命の延伸に努めたほか、新たに「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期までのさまざまなニーズに対し、切れ目ない支援に取り組みました。

農林水産業費

農林水産業費とは、農業・林業・水産業振興の事業のための経費です。

使われたお金…6億1,259万円

→町民一人あたり…4万4,796円 (前年比+4,859円)

基幹的産業である農業の担い手育成支援とともに、森林整備と森林資源の利活用に向けた森林境界明確化事業や分収林整備事業に取り組みました。

商工費

商工費とは、商工業振興、観光振興などの事業のための経費です。

使われたお金…3億1,252万円

→町民一人あたり…2万2,854円 (前年比▲768円)

紅花を核とした更なる生産・観光振興を図るとともに、がんばる商店応援事業や町産材等木造建築推進事業による消費需要の喚起と町産材の利用促進に取り組みました。さらに、企業立地促進事業により雇用拡大を図るとともに、新たに若者移住定住支援交付金を交付しました。

土木費

土木費とは、道路、橋、河川、公園など、まちづくりのための経費です。

使われたお金…6億9,475万円

→町民一人あたり…5万805円 (前年比▲1万1,988円)

町道や橋梁の長寿命化工事を行うとともに、住宅のリフォームに対する支援や若者世代の定住促進のための住宅施策等に取り組みました。

教育費

教育費とは、学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費です。

使われたお金…7億6,418万円

→町民一人あたり…5万5,881円 (前年比▲2,670円)

学校教育では、英語教育の推進、指導体制の充実ほか、部活動指導員配置等に取り組みました。スポーツ関係では、2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業や東陽の里グランド南側駐車場整備に取り組みました。

公債費

公債費とは、地方債を返済する元利償還金と一時的な借入をした場合の支払利息のことをいいます。

使われたお金…9億242万円

→町民一人あたり…6万5,991円 (前年比+223円)

建設事業などを行うために借り入れたお金の返済などに使われました。

その他

総務費、消防費、議会費、労働費、災害復旧費などです。

使われたお金…31億4,179万円

→町民一人あたり…22万9,746円 (前年比+3万4,291円)

総務費では、まちづくり複合施設整備事業を着実に進めるとともに、地域おこし協力隊の活動支援などを行いました。また、消防費では、小型ポンプ積載軽自動車配備などを実施しました。これらのほか、議会費、労働費、災害復旧費に使われました。



平成 30 年度に実施した
主な取組 (抜粋)

1_施設改修が行われたひがしね保育園 2_中国ソフトボールチームと交流 3_移住相談会の様子